横浜市商連機関紙（年４回発行）

よこはま市商連

158号　2011年（平成23年2月号）

発　行◆社団法人横浜市商店街総連合会
発行人◆岡野誠一
〒231-8575 横浜市中区万代町 2-4-7 横浜市技能文化会館５階
TEL. 045-662-0874　FAX. 045-662-5888
eメール　kato@yokohama-syoutengai.com
制　作◆有限会社商店街情報センター

市商連HP　http://www.yokohama-syoutengai.com/

外部人材はこうして活用！

市内外３事例から考える

人材不足に悩む商店会が増加している。理由としては、(1) 競合激化などで地場の中小零細商店が廃業、後継者難となり、役員の世代交代が困難になっている、(2) 人手の余裕もなくなり、商店街活動に多くの時間をさける役員が減っている、(3) 新規に出店するのはチェーン店や夜型飲食店、その他のサービス業で、やはり商店街活動に時間をさけられない、という店が多い、(4) 以前は店舗と住居が同じ建物で、店主や家族が商店街の住民という店が多かったが、最近は職住分離の店が増えている、(5) ホームページなど、一定の専門技術を必要とする事業が増えている、などが考えられる。

しかし、解決策はあるはずだ。商店会内部の風通しをよくするなどで人材の発掘、登用を進める、実施すべき事業を整理して、内部でできない問題を外注する、あるいは行政など支援機関の協力を得て、人材を確保している例も少なくない。外部人材を使う場合の費用についても、支援制度を活用できる場合もある。

そのほか、研究の一環として地域活性化、商店街活性化に取り組む大学など研究機関の活用、農業や工業、建設業など商業以外の業界との連携事例も最近では珍しくない。

本号では、外部人材を内部化（商店会の役員になってもらう）し、成果をあげている２事例、そして特定の地域や商店街の活性化支援を目的とする行政施策を活用している１事例を紹介したい。

事例1◆他区の事業者を役員に登用

青葉区・青葉台連合商店会

情報発信事業や補助金獲得に大貢献

HPの打ち合わせから

青葉台連合商店会の顧問（役員待遇）、大川雄司さん（44）は、同会でホームページ（HP）や情報紙、デジタルサイネージ（電子看板）など主に情報発信事業を担当している。

これらの事業は、大川さんが取締役を務める(株)キーライフが同会から委託を受けているものだ。同社の事務所は市内中区（昨年秋まで保土ヶ谷区）にあり、同商店会とはHP受託までまったく関係なかった。実際、HPを受託した当初は、「業者」としてHPの内容などについて、同会の役員らと打ち合わせをする関係だった。

ところが打ち合わせの内容が多岐に渡るので、「個々の役員から別々に話を聞くより、役員会に出席してもらったほうが早い」ということになり、オブザーバーとして役員会に出席するようになった。

その席で、イベントのアイデアや事業の資金繰りなどが話題になると大川さんがアドバイスを出すことも少なくなかった。横浜を中心に商店街関係の仕事も10年近く継続しているので、同会の役員さんの知らない情報も豊富に持っている。しかもわかりやすく説明してくれ、実施が決まったことはきちんと形にしてくれるので役員らの信頼も高まった。

例えば同会では、フリーペーパーを発行しているが、その資金捻出についても、該当する県市などの支援制度の活用や加盟店有志からの広告募集策などについて提案、決定すると行政への申請手続きや広告募集の

青葉台連合商店会の顧問として活躍する大川さん

最近実験的に設置したデジタルサイネージ（写真は店舗用）も、フリーペーパーも大川さんが中心になっている

本号の主な内容◆ 1-3＝［特集］外部人材はこうして活用！　4＝［必活！商店街仕掛け人］瀬谷区・三ツ境駅前商店会青年部長・樋田秀一さん　5＝［元気商店］緑区・霧が丘商店会「カフェベーカリーぷかぷか」高崎明さん　6＝［フロム市商連］「ガチコロ！」横浜の商店街コロッケNO.1決定戦、エントリー受付中／平成22年度横浜市商店街総連合会　商店街役員と優良商業従事者表彰／予算総会３月24日／４月から、TV番組をスポンサード！　［フロム市役所］「商店街ソフト支援事業」「安心・安全な商店街づくり事業」の実績報告書の提出を忘れずにお願いします／商店街組織の法人化補助実施中　7-8＝［NEWS］

段取りをしてくれるという具合だ。

高い役員の評価

その結果として、同会の相澤光雄会長は、「数年前から賛助会員、そして2年ほど前から商店会の役員就任を依頼、快諾いただいた。毎月1回の役員会や広報委員会などには殆ど出席してくれる。自治会や大学、行政などとの交渉にもよく出てもらっている。毎月の防犯パトロールやイベントの手伝いなどもよくやっていただいている。商店会費も払ってもらっていますよ」と評価している。

土志田隆副会長も、「最近、携帯電話で加盟店のQRコードを読み取るラリーを実施したが、これも彼が役員として動いてくれたおかげ。それと、各事業の補助金についても実践的なアドバイスをしてくれるので助かっている」と言う。

＊　＊

同会では、隣接の青葉台南商店会、桜台商店会と共に、今年の1月から実験的にデジタルサイネージ（DS）を設置しているが、経済産業省の「中小商業活力向上事業」という補助事業の指定を受けている。これも大川さんが尽力して実現にこぎつけた事業だ。

今回、青葉台地区3商店会で設置したDSは、各会ごとに大型を1台、設置を希望した有志店舗20店に小型の店舗用を各1台設置（DS情報は　方通行で、消費者は検索できないタイプ）。

＊　＊

大川さんは、青葉台連合商店会について、「発展しつつある好イメージの地域ということもあってか、新しい取り組みに積極的で、予算化しようという役員さんも多いので私としてもやりやすい」と述べている。

このような実績を背景にキーライフはいくつかの商店会の情報発信部門を引き受け、青葉区のたまプラーザ中央商店街の広報担当理事も受けるようになった。

事例2◆保土ケ谷区・和田町駅周辺2商店会　市の支援事業指定を受け、専門人材のサポート得る！

相鉄線和田町駅周辺の2商店会（和田町商店街協組、和田駅前商店街）は、「横浜市地域経済元気づくり事業」（以下、「元気づくり事業」と略）に指定されたことで、貴重な人材を戦力とすることができた。

元気づくり事業は、「商店街とコミュニティビジネス事業者等を横断的に連携する拠点を設置し、地域ニーズ及び地域資源（人材等）の把握や、それに基づいた様々な連携づくり等を行う『事業提案』を公募し、地域経済の活性化を図る」目的で横浜市が06年度から10年度まで実施している事業。

指定期間は2年間だが期間終了後も、商店会側の提案に基づき元気づくり事業を発展的に継続できる「商店街事業提案型活性化事業」を3年間活用できる。

和田町駅周辺地区は、元気づくり事業の指定を受け、06年12月、和田駅前商店街内に「地域経済元気づくり支援拠点」として「スタジオ★へそちく」を設けた。運営者は保土ケ谷区内にある合資会社「笑う門」（販売促進などの企画会社）代表の山田浩和さん（39）。山田さんは以前から和田町地区で始まっていた商学交流事業（和田町商店街協組と横浜国立大学を中心に、町内会・自治会、区などで構成）に関わっていた。

商店街を見直す住民や会員の増加

和田町駅地区で実施された元気づくり事業は、(1)商店街・商店、名所、歴史、住民らの活動を紹介するフリーペーパーやホームページによる情報発信、(2)商店街や名所旧跡などを回るまち歩き、商店主らがうんちくを語るセミナー開催などによる商店街・地域の再発見、(3)商店会のイベント支援、(4)駅前広場問題など地域の問題を語り合う場づくり。

これらの事業により、商店街を見直す住民や商店会員は徐々に増えていった。

駅北側の和田町商店街協組は加盟店も多く、道路も比較的歩きやすく、イベントなどの事業も活発に展開していたが、南側の和田駅前商店街は、道路環境に恵まれないなどで商店数も減り、組織的活動が難しくなっていた。この

情報発信やイベント運営などで商店会を支援した「スタジオ★へそちく」の山田さん

和田駅前商店街が始めたイベント、「わだまち★カフェ」で会員の着付け教室が開催したゆかたショー

年に4号ペースで発行されているフリーペーパー、「わだまち界隈」

ため、この事業では、和田駅前商店街の支援に力を入れた。

たまたまこの事業が始まった年、和田町駅前南側の広場が整備され、相鉄等の協力も得て、広場でのイベントが可能になった。

そこで、和田駅前商店街では07年度から年3回程度、「わだまち★カフェ」と名付けたイベントを継続している。内容は、会員による屋台、商品販売、浴衣ショー、地域住民らによる音楽演奏、抽選会など様々。小さな広場だが、延べ500人以上が集まるようになった。また、イベントの内容告知のほか、各店のサービス品を購入できるクーポンを印刷したチラシを毎回配布して、来店促進を図っている。

商建連携事業によるコミュニティカフェ「わっか」（手作り品の展示販売と交流を目的に昨秋開店）の立ち上げなど、山田さんらが果たした役割は大きい。同商店会の桐山忠史会長は、「イベントの企画運営、チラシやポスターの制作、行政など関係者との折衝など全面的に尽力してくれた。我々だと、店があるし、専門知識、人脈もあまりないので非常に助かった」と感謝する。

山田さんは、「この事業は3月末で終わりますが、商店会の皆さんにはこれまでの経験を生かして活性化に取り組み続けていただきたい」と期待する。

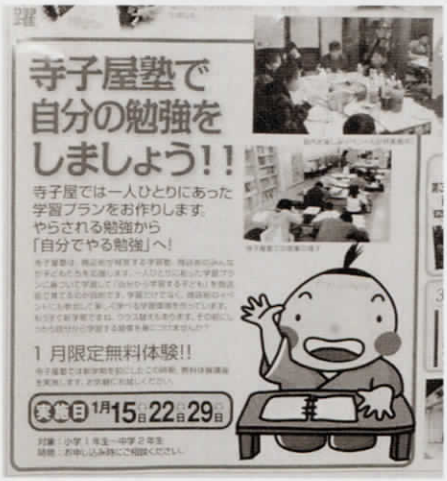
事例3◆長野県佐久市・岩村田本町商店街振組　学習塾運営を機に組合員に、新事業続々立ち上げる推進力に

佐久市・岩村田本町商店街振組の細川保英理事（55）は3年前、同振組の阿部眞　理事長（50）から請われ、組合員となり、ほぼ同時に理事に就任した。

細川さんは関西に本部を持つ企業に勤め、進学塾と福祉サービスの専門学校を全国各地で立ち上げる仕事を82年から担当してきた。しかし03年に独立、佐久市内の進学塾を引き継いだ。受験業界では偏差値重視が進む一方、打たれ弱い子ども、家庭でしつけを教わらない子どもが増えている。

地域と連携して、年長者が年少者を指導する寺子屋のような塾が望まれる。そんな話を4、5年前、阿部理事長に話したところ意気投合、「ぜひうちの商店街で開設してほしい」と頼まれた。

今が一番楽しいという細川さん



同振組発行のフリーペーパーで、寺子屋塾のＰＲ

順調に生徒集まる「寺子屋塾」

岩村田本町商店街振組では、07年3月から子育て支援事業、「子育て村」を開始、(1)協賛店サービス、(2)情報発信、ソフト面でのサポート、(3)環境整備を事業の3本柱としてきた。

会員制（会費無料）とし、会員にはEメールなどで情報発信する。また、子育てに関する講習会、その他のイベントを月1回程度実施している。環境整備策としては防犯カメラを設置した。「子育てお助け村」を設置。その後、短時間託児や子育て相談、子育てサロンも事業に加えた。

会員らを対象に希望する事業などについてアンケートを実施したところ、「商店街を通学路とする子どもも多いし、安全面などからも商店街に子どもをみてくれる場所があるとありがたい」といった要望が複数出た。このため、「振組で塾経営を検討しては」という意見が理事会でまとまり、阿部理事長が細川さんに相談した。

＜岩村田本町商店街振組の過去10年主な事業＞

2001年	アーケード・カラー舗装完成
2002年	「おいでなん処」（講演会、ギャラリー、イベント）開設
2003年	「本町おかず市場」開設
2004年	チャレンジショップ「本町手仕事村」開設
2007年	子育て村支援運営事業開始
・2009年	「岩村田寺子屋塾」開設
2010年	「子育てお助け村」開設
・2010年	「起業家育成塾」開設
2010年	防犯カメラ、LED灯設置
2010年	「子ども見まもりサービス」開始
2010年	「佐久っ子ＷＡＯＮカード」開始

その後、収支計画、物件などの見通しがつき、09年1月の開業にこぎつけた。2月初め現在の塾生は小中学生合わせて約90人、書道を含めると110人。まだまだ増える傾向にあり、順調という。

多彩な事業を展開

同振組では、この2年間、立て続けに新事業を導入している（表参照）。

今年3月には同振組として、高校生バトルショップと食堂の直営店舗2店をオープンさせる予定だ。バトルショップは15年度に統合される市内3高校の生徒による商品の展示販売、食堂は、「おかず市場」に次ぐ収益事業として開業するもの。

「原則1理事1事業担当制」の同振組だが、事業があまりに集中してきたため、塾以外でも細川さんが関わる事業が増えている。

それでも、「今までの人生の中で今が番楽しい。商店街や地域の活性化をお手伝いできることがうれしい。今後も私なりに、『よそ者』、『バカ者』的立場から理事会などで発言し続けていきますよ」と笑った。

必活！商店街仕掛人

仕掛ければ動き出す！

「もう1つの定番イベント」立ち上げを模索する若手歯医者さん

瀬谷区・三ツ境駅前商店会 青年部長 樋田 秀一さん

昨年11月の横浜Y.Y.150円商店街では大活躍

三ツ境最大のイベント、夏まつり。昨年は、樋田さんたちの働きかけで出店した飲食店も数店あったという

◆歯科医開業、すぐ商店会員に

「夏まつり以外にもう1つ定番となるようなイベントを立ち上げたい。夜市なんかどうかなと思っているんですが」と語るのは、瀬谷区・三ツ境駅前商店会青年部長の樋田秀一さん（31）。

2009年12月、「三ツ境駅前スマイル歯科」を30歳で開業した。「このまちで開業して　番良かったことは人の温かさでした。商店街の皆さんも患者さんも温かい人が多く、いつも助けられ感謝しています」。三ツ境駅前商店会にはすぐに加入した。「これから長く歯科医院を続けるには地元商店街が元気なほうがいい」からだ。

◆夏まつりが仲間づくりの契機に

昨年の三ツ境夏まつりには、商店会の一員として積極的に参加し、楽しみもした。

三ツ境の夏まつりは、商店街メイン通りの裏手にある、白姫神社（蚕をご神体とする養蚕の神様、通称「お白様」を奉る神社。以前は区内阿久和町にあったが養蚕業の衰退で、1957年に三ツ境へ移転）のまつりで、多くの住民をわきたたせる三ツ境最大のイベントとして定着している。まつりの企画・運営には三ツ境南口の各商店会が大きな役割を果たしている。

青年部のメンバーもこの夏まつりで共に汗を流す関係にある。

マスコットキャラクター（左が横浜F・マリノスのマリノスケ、右が瀬谷区のせやまる）と並んでご機嫌の子どもたち（昨年11月の横浜ＹＹ　１５０円商店街で）

◆「これから組織固め」の青年部

ただ、「青年部といっても昨年発足したばかりで、実態はよちよち歩き。部員は6人程度と少ないし、部長、副部長、会計、書記などの役員は決めましたが、規約も事業計画もまだですし、活動実績も殆どありません」と樋田部長は説明する。

しかし、三ツ境駅前商店会のベテラン役員、渡辺薫さんは、「商店会としては青年部を認知、期待もしています。昨年11月に隣の三ツ境商工会と共催した『横浜Ｙ.Ｙ.１５０円商店街』でも、いろいろ動いてもらいました」と評価する。

青年部の初仕事となった、『横浜Ｙ.Ｙ.１５０円商店街』の内容は、１５０円商品セールのほか、「ご家族でちょっと早い『クリスマス』がお楽しみいただける企画」として、謎解きウォークラリー、親子工作教室、本格ＪＡＺＺバンドライブ、地元エレクトーン教室生徒さんによる路上演奏、フリーマーケットなど。多くの人に喜んでもらった企画だったが、青年部としては、「実際にやってみると、スタッフの不足など課題の多いこともわかった」。

このため、「青年部、商店会をよく知ってもらうためのツールの制作や事業計画の作成など」を検討中という段階。

夏まつりや１５０円商店街では、呼びかけに応じて出店した飲食店店長なども数人いた。第　線で忙しい人が多いが、「こちらから出向いて、よく話せば何らかの形で商店街事業に参加してくれる人もいます。私同様、このまちを好きな人は多いですから。子どもの時からイベントに参加、よそのまちで会社に勤めても、『商店街のイベントには参加する』という部員もいるのですよ」と期待する。

本格ＪＡＺＺバンドも登場。そこへマリノスケが挨拶に！（昨年11月の横浜ＹＹ　１５０円商店街で）

六角橋商店街で見た「ドッキリヤミ市場」のように、模擬店や音楽演奏、その他のパフォーマンスを商店街中で展開する「夜市」が当面の目標だ。

緑区・霧が丘商店会
カフェベーカリーぷかぷか　高崎 明さん

養護学校退職後、障がい者と一緒に生きるため創業

「幸せです」と言う高崎さん

障がい者も元気で楽しく働いている

5、6階の中層住宅が並び、約3500世帯1万人が住むという霧が丘団地。10数店ある店舗は複数の建物の1階に点在している。ピーク時に比べ小学生の数は3分の1と少子高齢化が進展している。

ここに昨年4月オープンしたのが「カフェベーカリーぷかぷか」だ。

店主は、昨年3月まで市内の養護学校で30年間先生をしていたという高崎明さん(61)。

なぜ定年後にパン屋を開業か。「養護学校生徒（知的障がい者）の就職事情は深刻で、少しでも就労の場づくりに尽力したいということと、『彼らにほれこんでいる。　緒に生きていく手段として』という気持ちがあった。そしてパンが好きで20年間自分でつくってきた経験が生かせる。1店舗ではささやかでも、成功すれば後に続く人が出てくるだろう」と高崎さんは説明する。

経営母体としてつくったNPOの企画書では次のように述べている。

「この法人は、障がいのある人たちが地域の中で生き生きと生活できるよう、彼らの働くお店『カフェベーカリーぷかぷか』を運営する事業や地域の人たちとの交流の場づくりを行い、障がいのある人たちの生きやすい街づくりを目指す」。

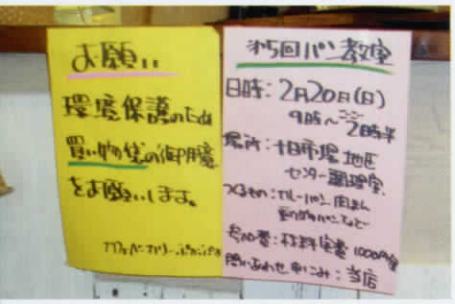
同店では、天然酵母を売りの一つにしている

協力債に680万円！

もちろん、志だけで店はできない。商品づくりのノウハウ、資金繰り、物件探し、スタッフの確保など課題は多いが、定年の数年前から着々と準備をしてきて実現にこぎつけた。

開業資金は3千万円近くかかったが、預金を担保にした日本政策金融公庫からの借り入れ、市と県の空き店舗活用事業補助金、そして協力債の発行（配当はないが年2%程度のパンを進呈。償還は起債後3年だが、1年経てば、請求があればいつでも償還）、その他寄付などでまかなった。ちなみに協力債は680万円分集まったと言う。

おいしいパンづくりということでは、天然酵母について本格的に勉強もした。



店内に掲示されたパン教室などのお知らせ

障がい者11人が就労

就労者は、障がい者11人、スタッフ7人（健常者）。障がい者については最低賃金を保証した。ただ、小さな店でなるべく多くの人が働けるようにと勤務時間を1日4時間制にし、働く場所を分け合う形にした。1人月平均6万円ぐらいになる。作業所で働く障がい者の一般的な収入よりはかなり高いという。

ただ、経営的にはまだまだ厳しい。平均日商は採算分岐点(日商10万円）の3分の2程度。

対策としては、外販や情報紙発行（手作り3千枚、月2回程度）、ホームページの強化、口コミ効果を期待して月1回程度のパン教室などを開催しており、今後の伸びに期待する。

売り上げが少ないと落ち込むこともあるが、「障がいのある従業員が地域での人気者になったり、以前店に見学に来た小学生たちがぷかぷかの歌を作曲、店の前で合唱してくれたりすることもあった。幸せです」と言う高崎さんだ。

「カフェベーカリーぷかぷか」が出店している霧が丘団地

「ガチコロ！」
横浜の商店街コロッケNO.1決定戦 エントリー受付中

「横浜の商店街にはどんなコロッケがあるのだろう・・・」「どのお店のコロッケがいちばん美味しいのだろう　」

市商連では、「ガチでうまい横浜の商店街コロッケNo1決定戦」、略して『ガチコロ！』を実施します！

順位は買ってくれたお客さまに投票で決めてもらいます。

対象商品は、市商連加盟商店街店舗が製造・販売するコロッケおよびコロッケを使用した商品です。

【告知】参加商品や店舗などを紹介する冊子、ポスターなどを制作し、参加商店会　参加店、及び市内イベントなどで配布するほか、市広報、市商連ホームページ、タウンニュースほかマスコミでのパブリシティーなど。

【エントリー締切】3月18日

【ハガキ投票期間】6月3日～9月30日（予定）

【結果発表】11月（予定）

【応募&ご質問】応募及びご質問は市商連事務局までお願いします。

なお、エントリー用紙は、市商連ホームページ、市商連事務局などで入手できます。

平成22年度 横浜市商店街総連合会商店街役員と優良商業従事者表彰

市商連では、2月17日午後2時より、ローズホテル横浜で平成22年度の商店街役員と優良商業従事者の表彰式を開催します。

受彰者は、横浜市長表彰商店街従業員等8名、横浜市商連会長表彰役員14名、横浜市商連会長表彰商業従事者13名の計35名。

予算総会 3月24日

市商連では、平成23年度予算総会を3月24日（木）、横浜市技能文化会館2階多目的ホールで開催します。

なお、総会に先立ち理事会を開催します。

＊開催時間は未定（各商店街代表者には別途案内）

4月から1年間、カラオケTV番組をスポンサード！

市商連をメインスポンサーとするカラオケ番組、「ハマ歌SHOW（仮）」が、4月からtvkで、毎月2回（隔週）放送されます。

内容は、商店街等から選ばれた方のカラオケ出演の他、毎回各区の商店街を紹介するコーナー（5分程度）を設け、1年間、情報発信していきます。

第1回の放送日時は平成23年4月6日午前10時～10時30分。

＊制作の都合により、本情報は変更される場合があります。

実績報告書の提出を忘れずによろしくお願いします

1・「商店街ソフト支援事業（プラン実践支援）」

《提出期限》事業終了後15日以内、または平成23年3月31日のいずれか早い日まで

《提出するもの》実績報告書（第6号様式）

＊添付書類

(1)実績概要書（第6号の2様式）

※実施したアンケート結果を踏まえて、ご記入ください。

(2)支出を証明する領収書等の写し

(3)事業実施写真又は成果物等

(4)事業実施後のアンケート結果の写し

※アンケート様式は、交付決定通知と共に郵送しております。

〈注意点〉

・今年度より事業実施後に商店会会員へアンケートを実施し、回収した結果の写しを提出することが必要です。

2・「安心・安全な商店街づくり事業」

《提出期限》平成23年3月31日（※平成22年4月～平成23年3月分の電気料金領収書が揃い次第速やかに）

《提出するもの》実績報告書（第6号様式）

＊添付書類

(1)事業報告書

(2)平成22年4月～平成23年3月の電気料金領収書又は支払証明書の写し（通帳の写しは不可）

(3)その他市長が必要と認める書類

※実績報告書と同時に平成23年度分の「補助金交付申請書」を提出することも可能です。

商店街組織の法人化補助（10万円）実施中

任意団体である「商店街」を法人化すると、横浜市から法人設立費用の　部（10万円）を補助しています。これを機に商店街の組織強化を検討されてはいかがでしょうか。

法人化の形態には、「商店街振興組合」、「協同組合」のほか、組合と比べて簡便に法人化できる「一般社団法人」が新たに選択肢として加わっています。

「一般社団法人」の場合、国から施設整備以外の補助のほか、市の「プラン実践事業」では「法人商店街」の扱いとなり、補助限度額の優遇措置が受けられます。

商店街が法人化を進めるにあたり、専門家（税理士）による相談も行っています。

詳しくは、社団法人横浜市商店街総連合会（TEL 662-0874）にお問い合わせください。

大型小売店舗の計画と届出書類を市役所で見ることができます

横浜市内　問合せ先・縦覧場所・意見書提出先

【横浜市経済観光局産業立地調整課】Tel.045-671-2598

URL http://www.city.yokohama.jp/me/keizai/jourei/rittihou.html

新設（新設のみ店舗所在区の各区役所区政推進課でも見ることができます）				縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称（所在区）	主な小売業者	開店日	店舗面積	
ファッションセンターしまむら西が岡店（泉区）	㈱しまむら	H23.7.10	1,112平米	H23.3.25
(仮称)YMT六浦計画（金沢区）	㈱ヨークマート	H23.6.16	1,862平米	H23.3.7
(仮称)エキニア横浜（西区）	㈱有隣堂ほか	H23.6.7	2,017平米	H23.2.25

・大規模小売店舗の施設の配置及び運営に関する変更			縦覧期間・意見書提出期限
大規模小売店舗の名称（所在区）	主な小売業者	主な変更点	
横浜ショッピングデパート（西区）	㈱マイカルほか	開　閉店時刻／駐車場を利用できる時間帯	H23.5.16
上大岡駅前再開発ビル（港南区）	㈱東急百貨店ほか	開　閉店時刻	H23.4.25
ルララこうほく（港北区）	㈱ヤマダ電機ほか	開　閉店時刻	H23.4.25
相鉄ジョイナス　太洋ビル　横浜ステーションビル・ダイヤモンド地下街（西区）	㈱高島屋ほか	荷さばき　廃棄物等保管施設の位置及び容量	H23.4.15
コープかながわ すみれが丘（都筑区）	(生協)コープかながわ	開　閉店時刻／駐車場を利用できる時間帯ほか	H23.4.4
横浜綱島8953ビル（港北区）	㈱オイトーヨーカドーほか	駐車場の収容台数駐車場の出入口の数及び位置	H23.3.25
オリンピック大倉山店（港北区）	㈱オリンピック	店舗面積／駐車場　駐輪場の位置及び収容台数	H23.3.25
第一権太ビル・第二権太ビル（西区）	㈱ダイエーほか	駐車場の位置及び収容台数	H23.2.7

ポイントカード勉強会のお知らせ　参加者募集中！

市商連では、ポイントカードに関する勉強会を企画委員会が主体となって開催します。

ポイントカードの仕組みについて、電子マネーなどの新たな決済方法や他都市の事例も紹介しながら、メリット・デメリットなどを検討する場になればと考えております。

◆市商連企画委員長、石川清貴氏の話

「個店の販促、顧客の買い物行動把握、地域貢献など」のツールとなりうる共通ポイントカードについて勉強会を進めたい。ポイントサービスのほか、電子マネーやクレジットカード、キャッシュカードなどにも対応するシステムにするかなどもテーマとなる。導入費のほか維持費もかかることだし（費用はシステムの内容や規模で異なる）、慎重に検討する。また、独自でポイントカードやスタンプシールを実施中の市内商店会ともしっかり情報交換するほか、市外の先進事例も研究して、10月頃までには結論を出したい。

●勉強会の主な内容
- ・ポイントカードの種類や機能
- ・先進商店街の事例研究
- ・メリット・デメリット
- ・ポイントカード事業者からの説明、質疑応答など

●対象者　ポイントカードなどのシステムに関心のある方や詳しい方など

●日時　基本的に月1回。平成23年3月から10月頃までを目途に実施（詳しい日時は、参加申込締切後に調整して決定します）
場所　横浜市技能文化会館（予定）

●定員　最大20名程度（応募者多数時には参加者の調整をさせていただくことがございます。）

●締切　3月4日（金）市商連に必着

●お申込み方法（Eメール、FAX、持参、郵送による申込み）
市商連ホームページ上から、「申込書」の様式を取り出し、必要事項ご記入のうえ、市商連宛てご提出ください。
・市商連ホームページ　http://www.yokohama-syoutengai.com
インターネット環境がない場合、市商連までご連絡ください。
FAXまたは郵送にて「申込書」を送付いたします。

●お申込み・問合せ先（社）横浜市商店街総連合会
電話　045－662－0874　　FAX　045－662－5888
Eメールアドレス　kato@yokohama-syoutengai.com
〒231-8575　中区万代町2－4－7横浜市技能文化会館5階

みなさまのご応募お待ちしております。

旭区商連創立40周年記念式典

旭区商連は、創立40周年記念式典を1月10日に旭公会堂で開催した。

式典には加盟商店会の代表のほか、旭区選出の議員や、自治会町内会の役員ら多数の来賓が出席。

関水英敬会長は「商店街の課題は山積しているが、みんなで知恵を出し合い、お客様に親しまれる商店街をつくっていきたい」と挨拶した。

都筑区商連が「地域福祉保健活動100選」に

都筑区商連は、今年度の「都筑区地域福祉保健活動100選」に選ばれた。同区商連は、認知症サポーター養成講座を何度も受け、100名以上の認知症サポーターを養成、各店頭に「認知症サポーターステッカー」を掲示して啓発に努めており、それらの活動が評価された。

2月19日の100選報告会では、同区商連の吉野会長も発表することになっている。

この100選は、「人と人との『であい ささえあい わかちあい』の和・輪を広げよう～地域のさまざまな活動による元気な地域づくり～」という理念に沿った活動を自薦・他薦で推薦してもらい、都筑区の地域福祉保健計画推進委員会の審査を通った活動を冊子やホームページなどで紹介するもの。06年度から10年度まで20活動ずつ選定している。

緑区商店街大学

緑区役所は、若手の商店主を講師に迎え、それぞれの店のこだわりや、今後の商店街の在り方を考える「商店街のこだわり再発見事業　緑区商店街大学」を2月19日と26日に緑区役所で開催する。

19日は、「日本民族とお米とのかかわり」講師は持田広人氏（五ツ星お米マイスター・(有)山田屋食糧）、26日は、「美味しいお茶の入れ方」講師は中山商店街協組の奥津守氏（茶審査技術五段・お茶の奥津園）。

EV対応の駐車場が完成

中区の協組元町エスエス会は、1月28日、電気自動車（EV）の充電機能付き機械式駐車場の披露式を開催した。EVやプラグインハイブリッド車（PHV）に対応する。

運営する協組元町エスエス会によると、商店街で充電機能を備えた機械式駐車場を備えるのは全国初という。

地元の坂道名称を公募で決定

港北区の大倉山商店街振組などからなる大倉山夢まちづくり実行委員会は、龍松院を通り大倉山梅林に続く坂道の名称を募集していたが、このたび「梅見坂」に決定した。応募者の中から抽選で10人に同商店街で使える5千円分の商品券がプレゼントされる。また、「梅見坂」を選んだ人の中から抽選で3人に、2月に行われる大倉山観梅会で記念品と感謝状が贈呈される。

NEWS

ワッくんカルタ大会・150円商店街開催

鶴見区のつくの商店街協組、豊岡商店街協組、鶴見銀座商店街協組は、1月下旬から2月中旬にかけ、鶴見の名所や歴史、文化などを盛り込んだ「ワッくんカルタ」を生かしたイベントをそれぞれ実施した。

ワッくんカルタは、区民らで構成される鶴見まちづくり推進会議が昨年作成したもので、今回のイベントではこのカルタの普及と各商店街の活性化を目指した。

鶴見銀座商店街協組では1月29日に練習会を開催、豊岡商店街協組では1月27日から2月13日まで、街路灯に拡大した読み札・絵札46セットを飾り、『カルタアート商店街』とした。

この企画を提唱したつくの商店街協組では、2月12日にカルタ大会を開催。併わせて、ミニライブや漫才、ワッくん（鶴見区のシンボルキャラクター）とマリノスケ（横浜F・マリノスのキャラクター）、そして50店が参加しての150円商店街を実施。この企画は、YouTVが生中継した。

今回はチラシ8千枚を印刷、うち2千枚を加盟店で配布、残りを地域の幼稚園や保育園、小学校などで配布してもらった。

同協組の高橋英昭理事長は、「商店街は常に何かをしていないと忘れられてしまう。150円商店街は、各店の販促につながる可能性があり、その時々に合わせたタイムリーな企画と組み合わせれば有効なイベントメニューとなる。来年度も数回は実施したい」と語る。

つくの商店街協組ではHPやチラシなどでこのイベントを告知している

弘明寺商店街節分祭

南区の横浜弘明寺商店街協組は、2月3日、「吉例節分祭」を同商店街中ほどの観音橋で開催した。

当日は裃（カミシモ）に身をつつんだ年男が1000人分の福豆袋を配った。この袋にはすべてに福豆、　部に加盟各店が用意したプレゼント「幸運の引換券及び商店街金券」が入っている。

あったか市2011

都筑区の荏田南近隣センター商店会は、1月16日、商店街内の荏田東郵便局前広場で、「あったか市」2011を開催した。内容は、空手演舞、もちつき、模擬店、獅子舞、茅ヶ崎ばやし、音楽演奏など。

ふれあいフェスタ中川

都筑区の中川駅前商業地区振興会は、1月22日、中川駅前広場で、「ふれあいフェスタ中川」を開催した。ぐるっと緑道・遊歩道研究会、I LOVE つづきが共催。都筑区役所後援。内容は、フリーマーケット、もちつき、模擬店など。

ふくふくすたんぷ日帰りバスツアー

鶴見区の鶴見銀座商店街協組は、2月20日に同協組で発行している「ふくふくすたんぷ」の愛用者約40人を日帰りバス旅行に招待する。役員5人が添乗。

バス旅行は毎年1回実施している人気のイベント。今回の行き先は静岡県で、沼津、富士宮、御殿場などの観光地を巡る。参加条件は、ふくふくすたんぷの満貼台紙4500円分（15冊）か台紙5冊以上と差額分の現金（例えば、5冊と現金3千円）。